

京大の技術を中小に 電気柵の特許を仲介

技術移転機関のタマテ
イーエルオー(東京都八
王子市、井深丹社長)は
京都大学の研究者が持つ
電気柵の特許を愛知県の
企業に仲介した。ニホン
ザルの被害を防ぐための
電気柵で近く製品化の予
定。タマテイーエルオー

が多摩地区以外の大学と
企業を橋渡しし、製品化
にめどを付けたのは初め
で。

電気柵はロープやネッ
トなどの軽量部材を活用
したのが特徴。

近年増加しているニホ
ンザルによる農作物の被
害を防ぐのが目的で、鋼
鉄製ネットを使った既存
の電気柵に比べ軽量で安
価という。

京都大学霊長類研究所
(愛知県犬山市)の室山
泰之助教授が開発。漁網
や産業用ネットを手掛け
る福井ファイバーテック
(愛知県豊橋市)が今秋

にも発売する。

タマテイーエルオーは
二〇〇〇年設立で、大学
で生まれた技術の特許取
得や、企業への技術移転

が主業務。首都大学東京
など多摩地区の大学のほ
か、全国展開を目指して
京大とも技術移転業務契
約を結んでいる。